

地域農業の水利を守る 青木堰大規模改修工事が竣工

■問合先／農林課（☎58-5111-75-3111代表）

4月3日、青木堰（青木地区）で、青木堰大規模改修工事の竣工式が大和桜川維持管理組合（廣澤光一郎組合長）の主催で挙行されました。

青木堰は、天保4年（1833年）に旧青木村（青木地区）が農業用水不足で水田農業が困難を極め、村の存亡の危機に、二宮尊徳による「青木村仕法」といわれる復興計画により築造された堰です。それに併せて、荒地開発も行われたことから、村が復興したと伝えられています。



竣工を祝い建立された記念碑の除幕



改修された青木堰

青木堰は、過去にも改修工事が実施されてきましたが、現状は用水堤防に亀裂などが生じ、水門コンクリートから水漏れが発生していました。今回、同組合が要望を行い、

茨城県の農業用河川工作物応急対策事業として鋼製起伏堰（SR堰）の改修設置、土砂吐きゲートの補修工事が行われました。

竣工式には、来賓をはじめ関係者など約50名が出席。建立された記念碑の除幕、神事が行われ、今回の大規模改修工事による安定的な農業用水の供給と災害の未然防止が祈念されました。

災害に備え 茨城県行政書士会と 協定を締結

4月28日、茨城県行政書士会（古川正美会長）と市との間で「災害時における支援協力に関する協定」を締結しました。

本協定は、大規模災害により被災した際に、各種事務手続きの相談窓口を無料で開設することで業務の効率化や防災・減災対策へのさらなる充実強化を図ることを目的としています。

茨城県行政書士会は、東日本大震災以降、各自自治体と協定締結を進めており、桜川市は県内で29番目の協定締結自治体となります。



署名した協定書を手にする大塚市長と古川会長（右）

■問合先／防災課（☎58-5111-75-3111代表）

寄付 真壁ライオンズクラブ

（谷田部由則会長）から、真壁地区の小・中・義務教育学校1年生202人分のノートの寄贈と、真壁図書館への図書購入費として3万円の寄付がありました。



大塚市長と稲川教育長に目録と寄付金を手渡す真壁ライオンズクラブの皆さん

桜川市未来クラブ協同組合（白田唯雄理事長）から、子どもたちの教育と市の感染症対策に役立ててほしいと、50万円の寄付とサーマルカメラ2台の寄贈がありました。

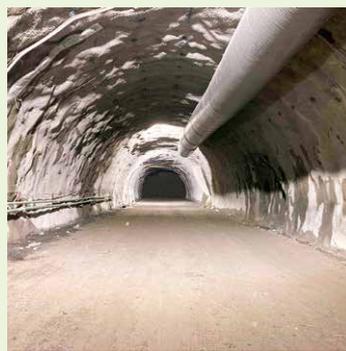
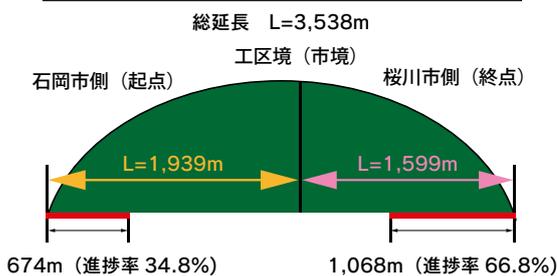


大塚市長と稲川教育長に目録などを手渡す桜川市未来クラブ協同組合の皆さん

寄付

■問合先／建設課（☎58-5111-75-3111代表）

上曾トンネル掘削進捗状況（5月10日現在）



（仮称）上曾トンネル
本体工事進捗状況 vol.4
▼掘削後のトンネル内部の状況（桜川工区）

（仮称）上曾トンネル
本体工事進捗状況 vol.4